

報道関係者 各位

放送批評懇談会



発表！2021年11月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2022年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2021年11月度ギャラクシー賞月間賞

マツコ会議「ゲスト・阿佐ヶ谷姉妹」

11月6日放送 23:00~23:30 日本テレビ放送網 SION 極東テレビ台 ザイオン

一躍注目の的となった阿佐ヶ谷姉妹がゲストで登場。その人気の理由について、マツコ・デラックスが自分の体験にも照らして読み解く。彼女たちの「地に足のついた」生き方が正しくなった時代、そこにテレビ全体の変容も絡めた分析は、テレビ論ひいては日本社会論としても傾聴すべき部分が多く、マツコの本領発揮といったところだった。

アナザーストーリーズ 運命の分岐点**「国境なき医師団は声を上げる～人道支援という闘い～」**

11月9日放送 21:00~22:00 日本放送協会 NHKエデュケーショナル スローハンド

現在、世界に4万人のスタッフを擁し、紛争地域や戦争の現場で無料の医療活動続ける「国境なき医師団」。1999年にはその活動が評価されてノーベル平和賞が贈られた。この番組はその成り立ちや発展を歴史的にたどり、主要な人物の発言を紹介しながら、世界各地で展開されてきた人道支援の思想と現実を伝えた。

NHKスペシャル「この素晴らしき世界 分断と闘ったジャズの聖地」

11月20日放送 21:00~21:50 日本放送協会

さまざまな分断が進み、偏見と憎しみが世界の至るところで悲劇を生んでいる現代。その象徴ともいえる街・ニューヨークで、心の奥の悲しみを共有するジャズの世界に生き、それぞれ災難に遭った3人の姿を通して、人が人を信じ、希望を明日に繋ぐ力強さを描いた作品。名曲とともに改めて人間を信じたいという気持ちにさせてくれた。

E TV特集「消えた技能実習生」

11月20日放送 23:00~24:00 日本放送協会

継続的に取材を続ける10人のベトナム人技能実習生の現状報告。コロナ禍で職を失った人も多く、国は転職可能なビザの発給を認めたが、「転職バブル」というべき状況が生じ、SNS上の違法な職業斡旋、闇金融に絡む裏社会の動きもあり、行方不明の実習生も多い。実習生たちのこの厳しい状況に対する国の姿勢が問われている。

★詳細は月刊誌「GALAC」2022年2月号に掲載します